

科目名	日本文学の世界 I			科目コード	1316
開講学科	教職課程	単位数	4	形態	講義
教員名	西岡陽子				
授業の目的及びテーマ					
日本古典文学の特性を、文学史を通じて学ぶ。					
授業概要					
日本文学のうち、上代(奈良時代以前)・中古(平安時代)・中世(鎌倉時代～安土桃山時代)の作品を中心に時代ごとに概観し、同時にジャンルごとの流れや、個々の作品が文学史の上でどのような位置づけにあるのかを考える。					
授業計画					
<p>第 1 回：テキストの構成(読み方と使い方)の解説(学習指導書参照)。</p> <p>第 2 回：文学史の時代区分概説(学習指導書参照)。</p> <p>第 3 回：古典文学のジャンルを概観する(とくに上代と中古の文学を整理する 第1課題)。</p> <p>第 4 回：上のうちで①詩歌(「万葉集」と「古今和歌集」・「新古今和歌集」)について、その作品と時代性に注意しながら考える(第2課題)。</p> <p>第 5 回：②神話・伝説・説話・歴史物語について詳しく見る。</p> <p>第 6 回：③物語について詳しく見る。</p> <p>第 7 回：④日記・随筆・紀行文について詳しく見る。</p> <p>第 8 回：以上を踏まえた上で口承文学と記載文学の違いを考える(学習指導書参照)。</p> <p>第 9 回：韻文と散文の違いと文学史上において果たした役割の違いを考える(学習指導書参照)。</p> <p>第 10 回：かな文学と女性作家の果たした役割を考える(学習指導書参照)。</p> <p>第 11 回：中世語り物文学とくに「平家物語」を通して文学と芸能の関係を考える(学習指導書参照)。</p> <p>第 12 回：それまでに学習してきたことを踏まえて「枕の草子」と「徒然草」を作家性や時代性に注意しながら相違を考える(第3課題)。</p> <p>第 13 回：口承文学と記載文学の相違と交流を考える(学習指導書参照)。</p> <p>第 14 回：口承文学の背景にある民俗的思考を学ぶ(学習指導書参照)。</p> <p>第 15 回：鬼の登場する物語を考える(第4課題)。</p>					
テキスト	乾 安代他『日本古典文学史』暁書館		参考文献		
評価方法:					
通信授業は提出課題(4件)を以って評価する					